

第5回稲沢市給食基本計画策定委員会 議事要旨

日時：令和2年7月3日（金）

14時00分から16時30分まで

会場：稲沢市勤労福祉会館 3階 第1・第2会議室

1 開会

【開会のあいさつ】

【委員長あいさつ】

2 協議

(1)稲沢市給食基本計画(案)と(2)新たな学校給食施設の整備について

委員：計画の記述について「学校給食基本計画」ではなく「給食基本計画」でよいか。

事務局：学校の給食だけでなく、保育園についても調理員数の減少に対応する必要性がありましたので、給食としています。

委員：現在の調理員数の状況を反映すると、令和8年の調理員数が1人、令和15年に0人なることが予想される。

委員：新しい給食センターを整備するとして、業務委託などの民間活力の導入は、同時に行われるのか。

事務局：調理員の担い手不足が深刻であり、市の方針としても、民間活力の導入が必要であると考えています。

委員：給食調理業務について民間に委託することと市の直営で行うこととの、コスト面での比較検討は行わないのか。

事務局：市の方針として、将来的に民間活力の導入をすることとしています。

委員：5年後はまだ、民間活力の導入を行わなくても、調理業務はできる。調理員が補充できない状況になってから、民間委託等を行うのでは遅いのか。

事務局：会計年度任用職員の補充もままならない状況で、退職を迎える調理員を再任用しないと持続的な運営ができない状況にあり、正規職員のみでの運営は不可能な現状にあります。

安定的な給食の運営を行うための外部委託です。具体的にどのタイミングで行うのかということはまだ考えていませんが、新規給食施設の開業時が一案となると考えています。

委員：第1回の委員会では民間活力を導入しても、必ずしも調理員の確保ができるわけではないというお話もあった。民間への業務委託を行わない方法はないのか。

委員長：市の方針として、民間活力の導入を進めるということであれば、「給食基本計画」でその方針を覆すということが計画で話し合うものとは違うレベルの話になる。

民間委託には欠員が出たときに調理員を補充しやすいといったメリットがある。稲

沢市の人で補充できる仕組みがあればなおよいと思う。

国も民間活力の導入に関する指針を出している中で、市が方針を変えることは難しい。

事務局 : 現状でも、臨時の調理員が辞職した際に、職安等に問合わせをしているが、人が集まらず、対応に苦慮しています。

委員長 : 民間給食会社のメリットとして、夏休み等の給食が行われない時期にも、社員食堂などの働く場所が提供できることがある。
市直営だと、長期で働くことを希望する若い人が見つからないという懸念がある。
夏休みのような長期の休みがあるということで、施設機能の追加では対応できない問題である。

委員 : 54 ページ、公会計化の対象が、給食費と全校共通の補助教材費のみとなっている。
それ以外の費目については、公会計化ができないのか。修学旅行費などは保護者と業者とで直接支払いをしている場合もみられる。

事務局 : 「給食基本計画」の公会計化の図はあくまでもイメージとして考えていただきたい。
公会計化はまず給食費を考えていますが、他についても段階を踏んで導入していきたいと考えています。

委員長 : 公会計化は給食施設の建替え・整備と連動して行うのか。

事務局 : 市の給食施設の整備に併せて、組織の再編も進むので、施設整備時に公会計化システムを導入し、給食費の一括管理をしたいと考えています。給食費以外の各学校の徴収金についても検討していきたいと考えています。

委員 : 保護者にとっては、学校と市の2つに支払うことになるのか。

創建 : 公費として、一括で受け入れて、システムを導入することによって振り分けることとなります。

委員 : 引き落としの手数料は費目の数によって変わるのか。

創建 : 業者によりますが、一般的に児童・生徒数が多くなるほど、手数料は安くなります。

委員 : 複数の費目をまとめて引き落としで支払うことは可能か。

創建 : 費目ごとの徴収を行う時期によりますが、いくつかの費目について一度に引き落としで支払いをするシステムが一般的です。

委員 : 大規模学校給食センターでなく、地域単位での学校給食センターで施設整備を検討するという点で問題はないのか。

コスト面では大規模学校給食センターの方が優れており、こちらを選ぶ人も多いと考えます。

委員長 : 安定した給食の提供を行う上で、災害等へのリスク分散という意味で地域単位での学校給食センターは評価できる。大きな施設になるほど、タイトな時間で給食を作ることのリスクは大きくなる。

事務局 : コストの評価が目立っておりますが、給食で最も求められることが何かということを整理して、総合評価につなげたいと思います。

創建 : 評価項目にリスク分散の視点を加えるとともに、児童・生徒への重要性の観点で項目

を考えます。

(3)パブリックコメントについて

事務局 :「稲沢市給食基本計画(案)」について、今回の委員会で修正点が多くできましたので、修正した計画(案)を、パブリックコメントの前に委員の方々に説明する機会をいただきたい。

委員長 : 今回の意見を受けて修正した「稲沢市給食基本計画(案)」を後日、事務局から説明いただいたうえで、パブリックコメントを行うということで、皆様よろしいでしょうか。

委員長 : では、「稲沢市給食基本計画(案)」の修正と説明を行ったうえでパブリックコメントの実施をお願いします。

3 閉会

【閉会のあいさつ】